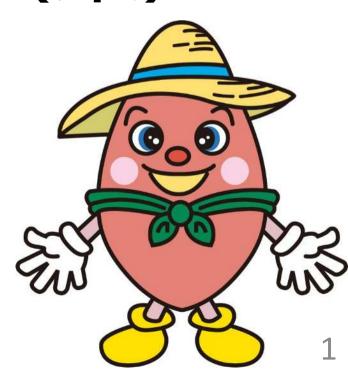
大津町人口ビジョンの 概要等について (案)

令和3年12月23日 総合政策課



本日の内容

人口ビジョンとは

現状分析

将来展望の検討

人口ビジョンとは

人口ビジョンの目的等

- ・人口ビジョンは、町の人口の現状を分析し、人口に関する認識を町民の皆さまと共有し、今後目指すべき将来の方向と人口展望を提示するものです。
- 大津町人口ビジョンのこれまでの策定・改定状況は、以下のとおりです。
 - 平成28年3月策定 令和2年3月改定 (人口増を踏まえ、データを最新のものに更新)
- 今般、**令和2年度国勢調査の結果を踏まえ、改定** を行います。

総合戦略との関係(イメージ)

現在の大津町

人ロビジョンで描く <u>将来展望</u>

まち・ひと・しごと 創生総合戦略に 基づく地方創生の 取組み

令和2年国勢調査との関係

- 今後、国勢調査の結果が順次公表されます。
 - ※本日の資料のうち、2020年の数字は大部分を「熊本県推計人口調査」の数字で代用しています。
- 随時、利用可能な最新情報を反映していきます。

国勢調査のデータ	公表予定時期	今回の人口ビジョンでは
人口速報集計	令和3年6月	R2調査を反映済み
人口等基本集計	令和3年11月	R2調査を反映済み
移動人口の男女・年齢等集計	令和4年2月	R2調査を反映予定
就業状態等基本集計	令和4年5月	H27調査を利用
従業地・通学地による人口・ 就業状態等集計	令和4年7月	H27調査を利用

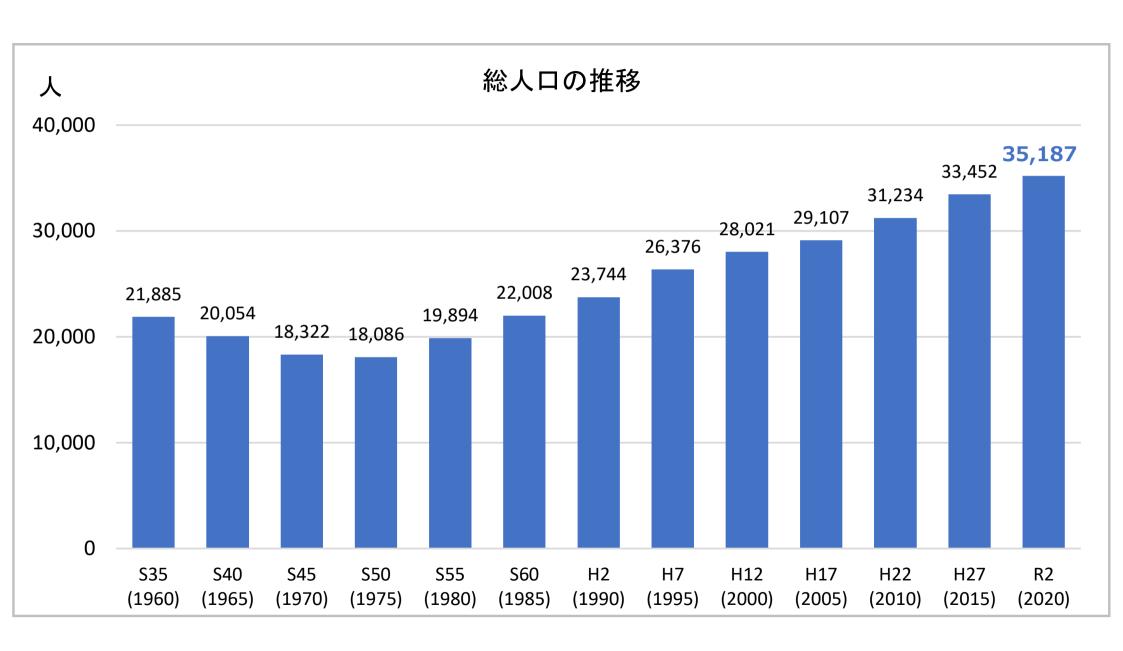
現状分析

要約

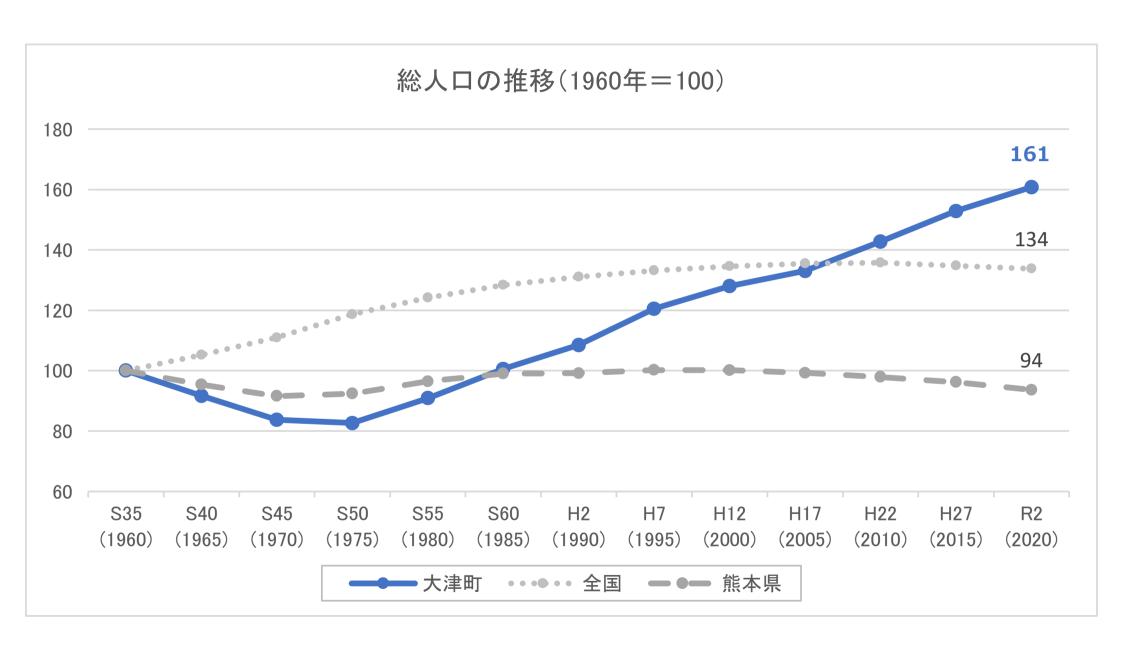
- 町全体としての大津町の人口は、自然増かつ社会増となっています。
- 生産年齢人口割合が高く、高齢化率は国や県の 平均を下回っています。

- ▲近年、出生数が低下傾向にあります。
- ▲ 20歳代の若者が相対的に少なくなっています。
- ▲ 南部・北部には、既に人口減少が進み、高齢化率が非常に高くなっている地域もあります。

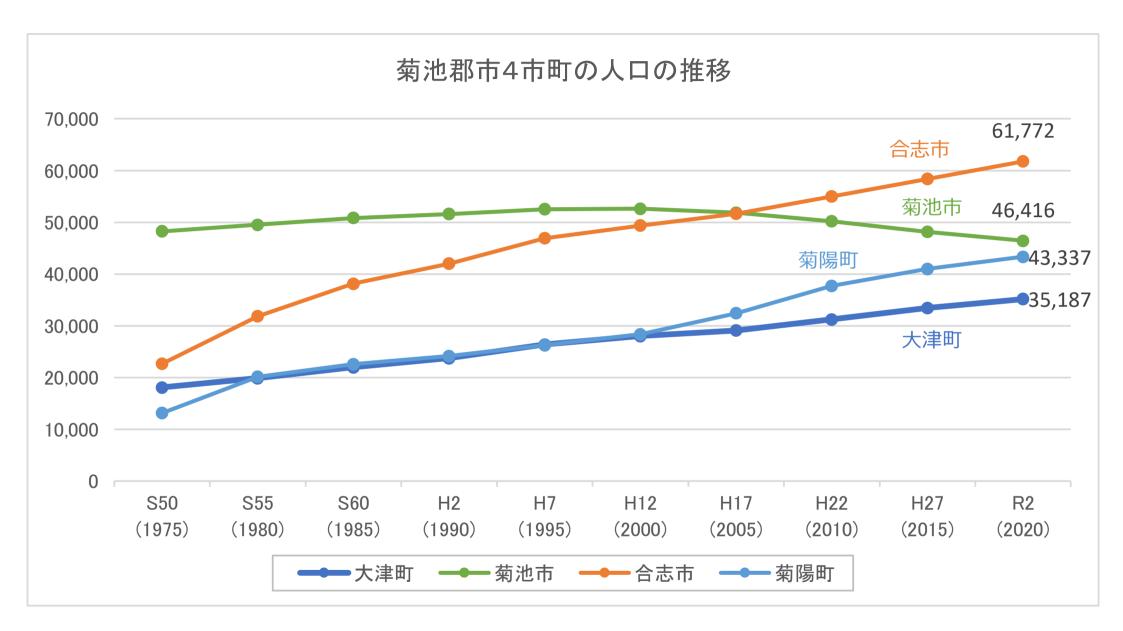
総人口の推移



総人口の推移(過去60年間の成長率)

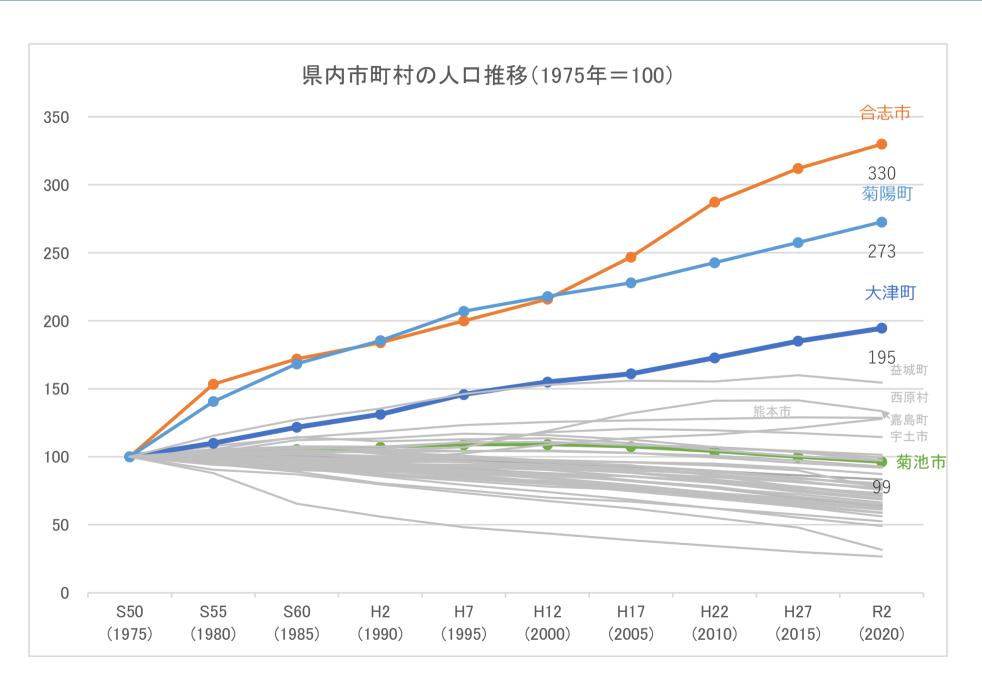


総人口の推移(菊池郡市比較)

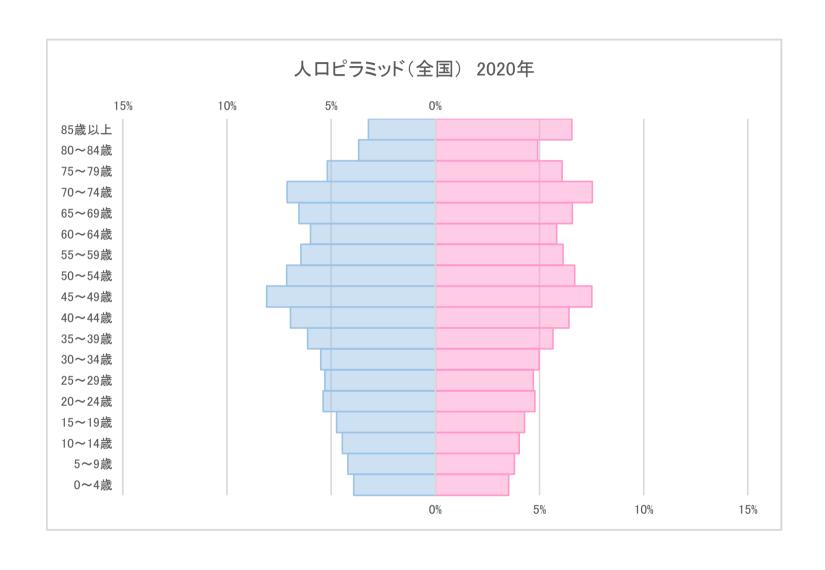


【参考】県内で2015年→2020年に人口が増加した自治体は45市町村中4市町(合志市、菊陽町、大津町、嘉島町)

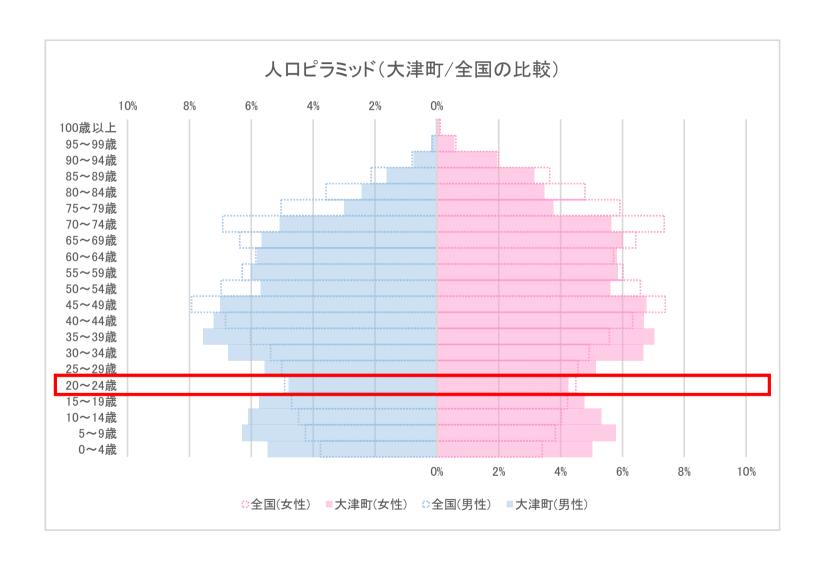
総人口の推移(県内市町村の成長率)



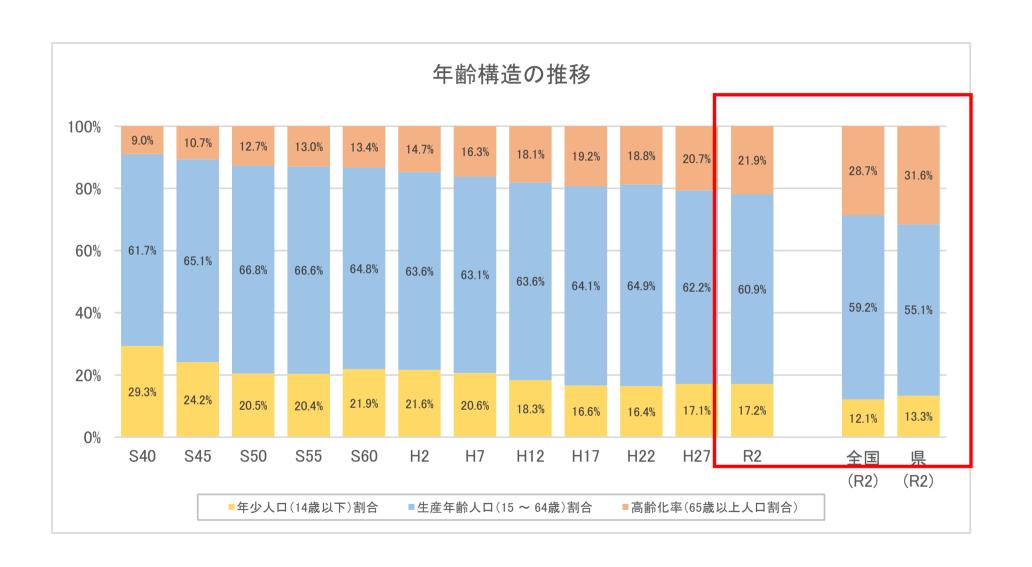
人口ピラミッド(全国 1920年~2020年)



人口ピラミッド (大津町 2020年)



年齢構造の推移



人口増減の要因

人口增減=自然増減+社会増減

(出生)一死亡)





- ・若年女性人口
- ・出生率



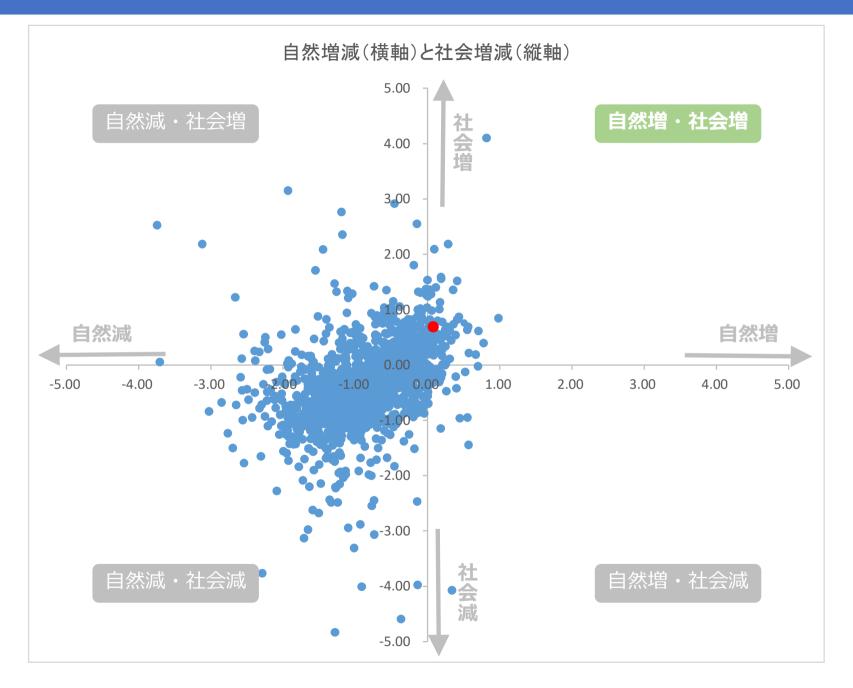
暮らしの場・働く場としての 利便性等 (他の市町村と比べて)



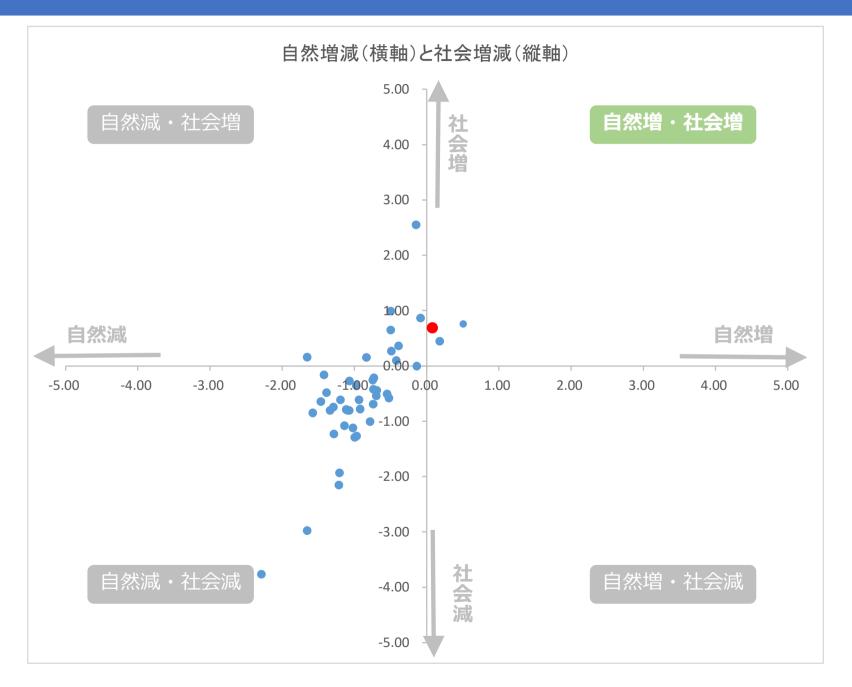




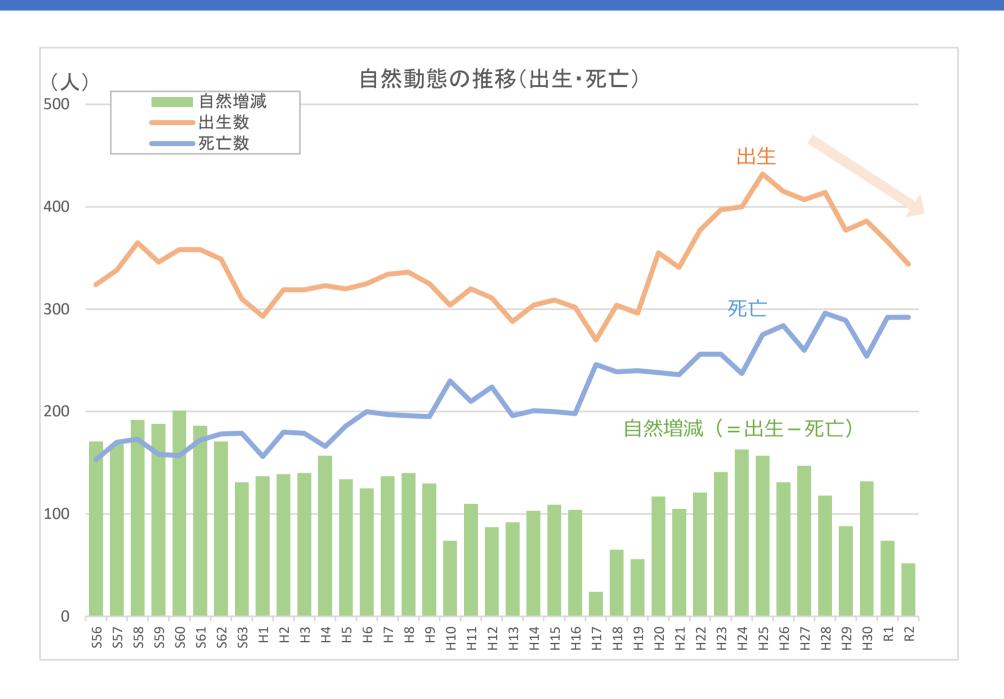
全国市区町村の自然増減・社会増減(2019→2020)



県内市町村の自然増減・社会増減(2019→2020)



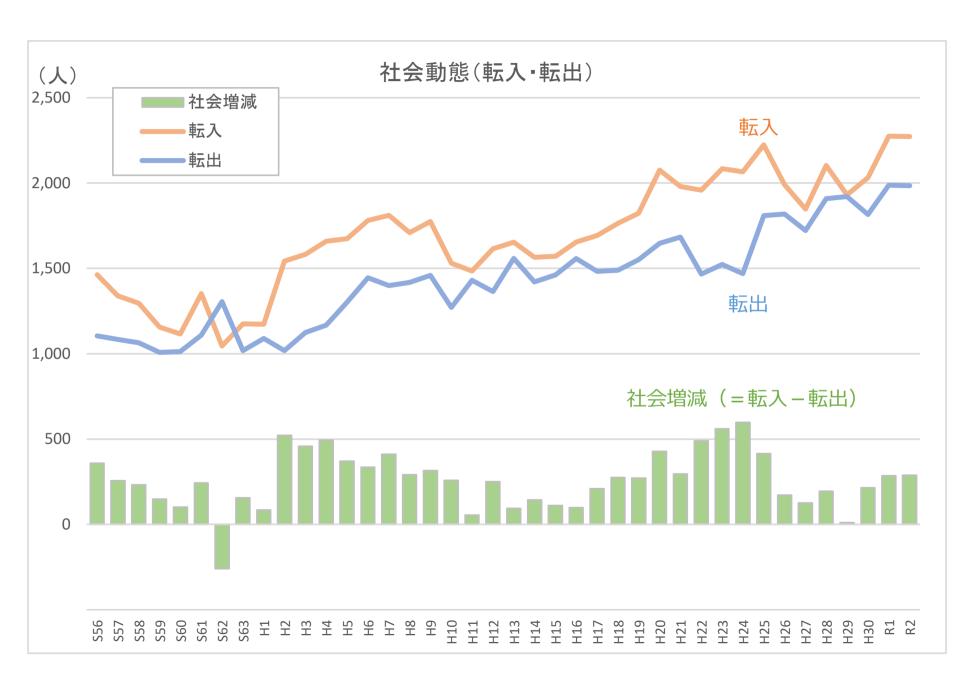
自然増減の推移



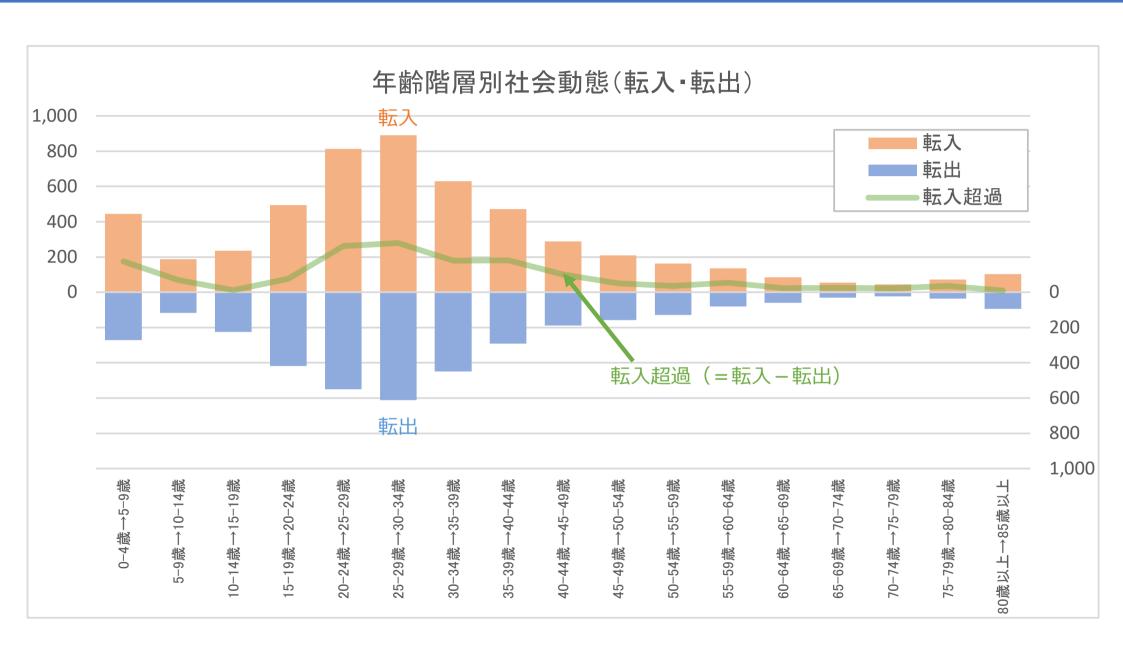
出生率の推移



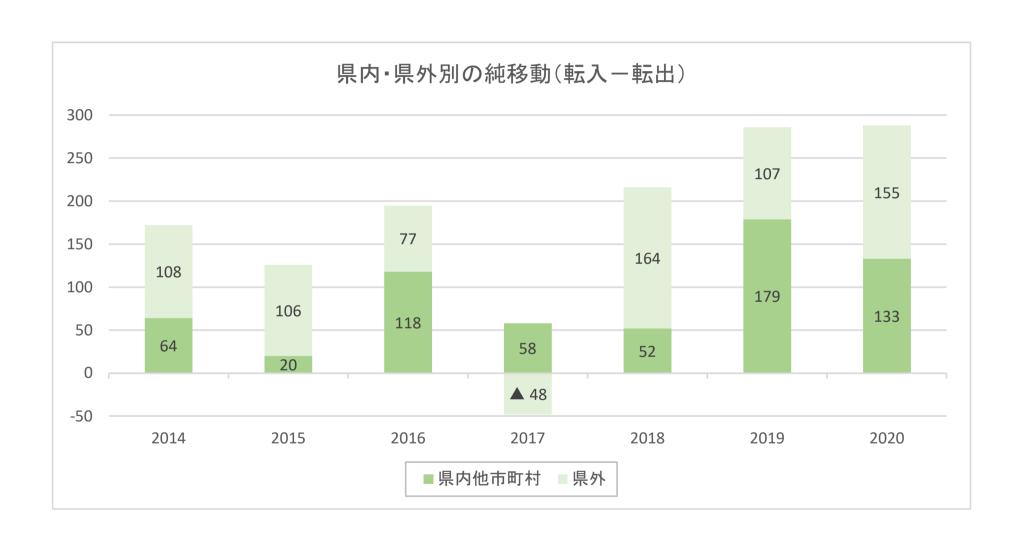
社会増減の推移



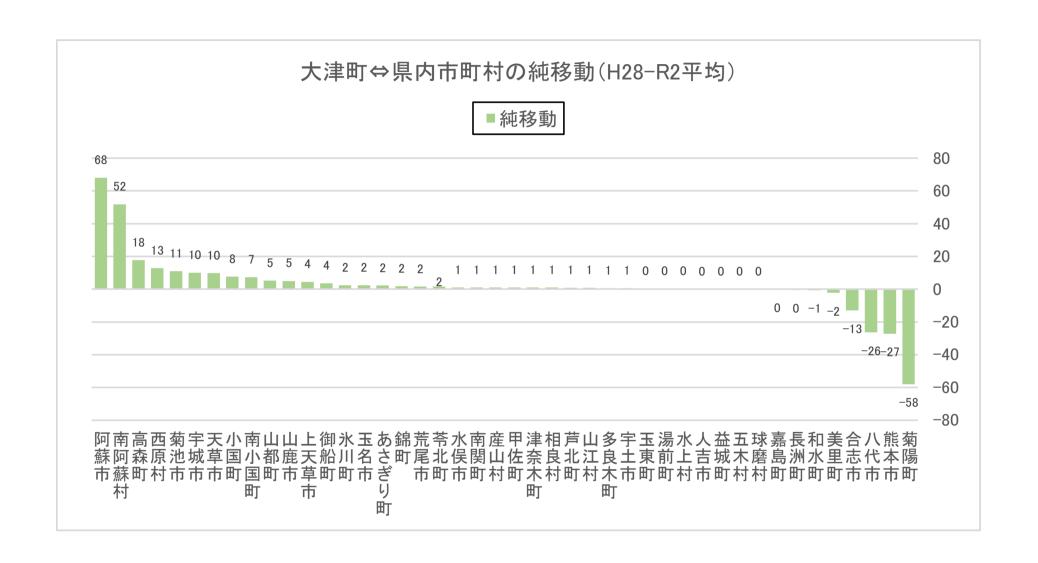
年齢階層別の人口移動



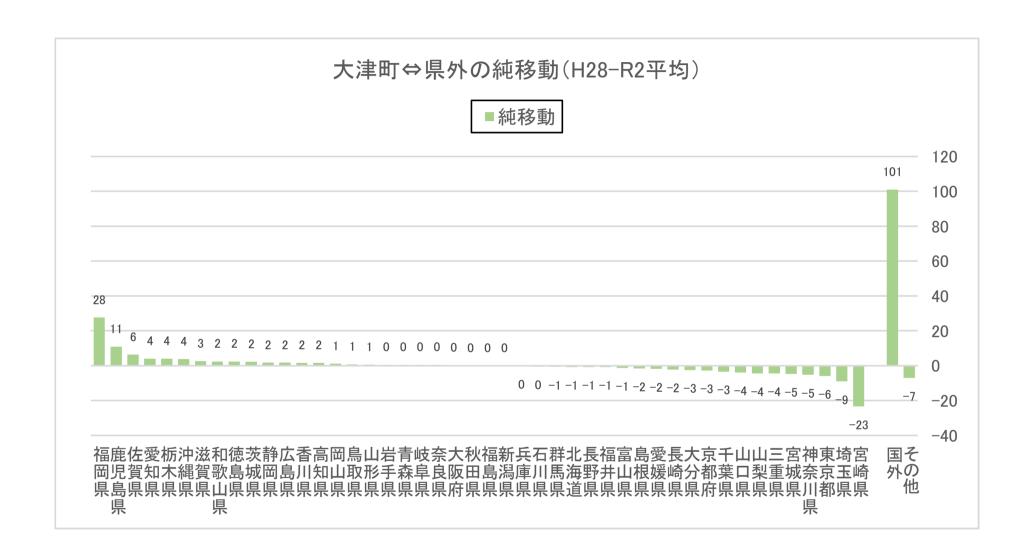
県内・県外別の人口移動(純移動)



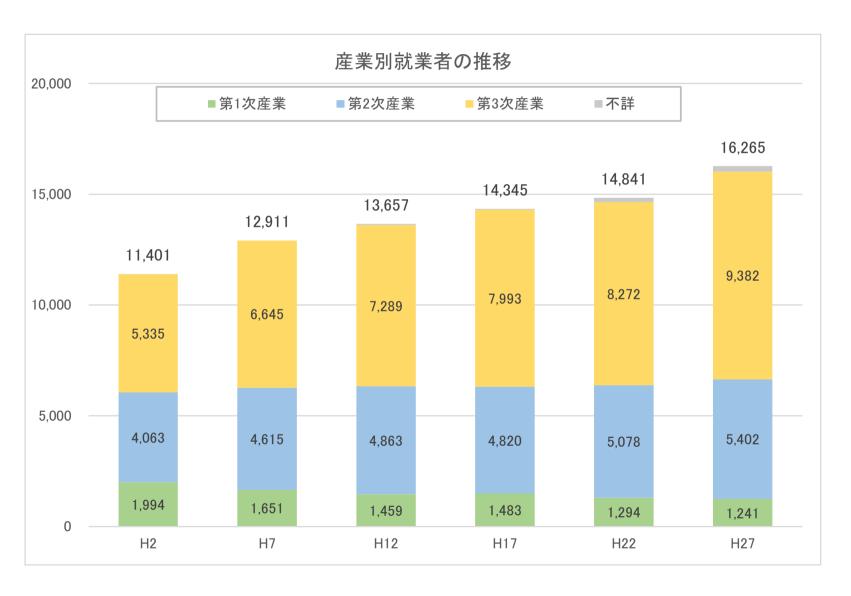
人口移動先(県内)



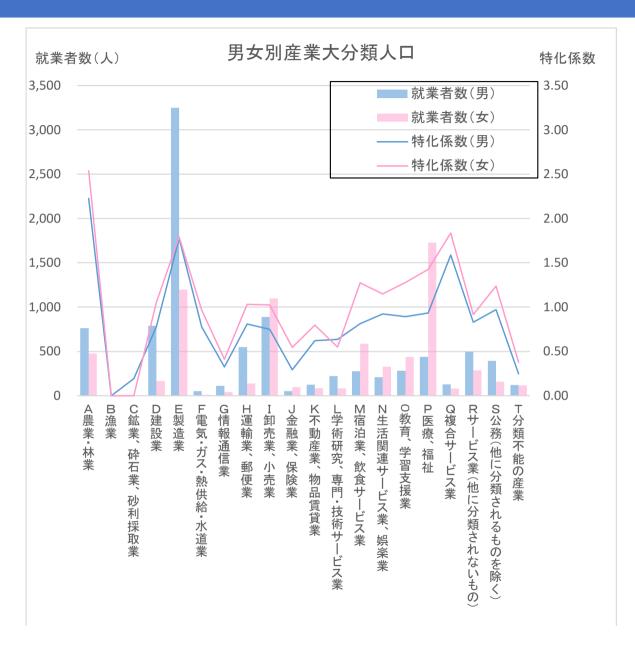
人口移動先(県外)



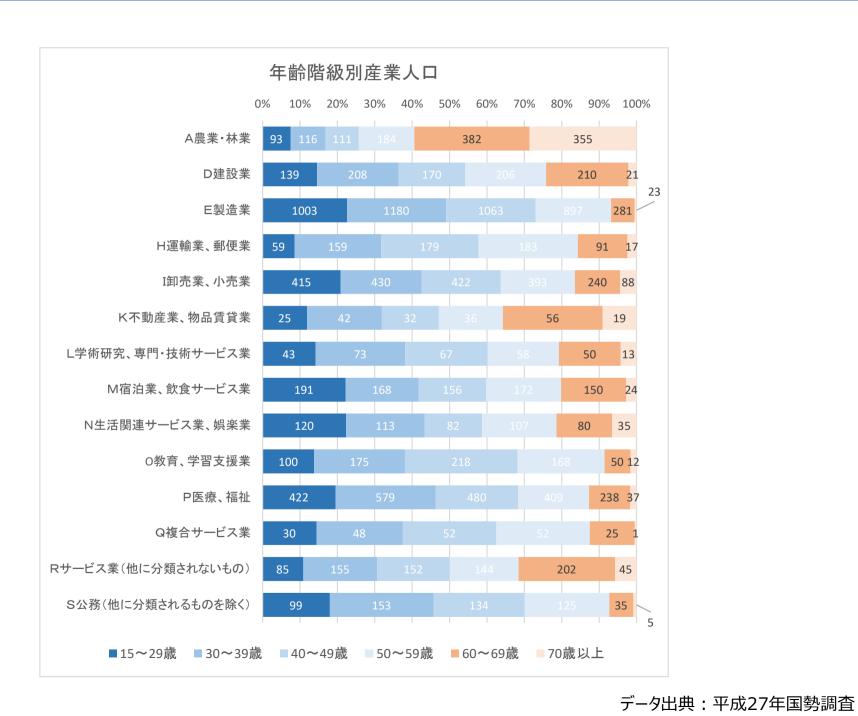
大津町の産業構造



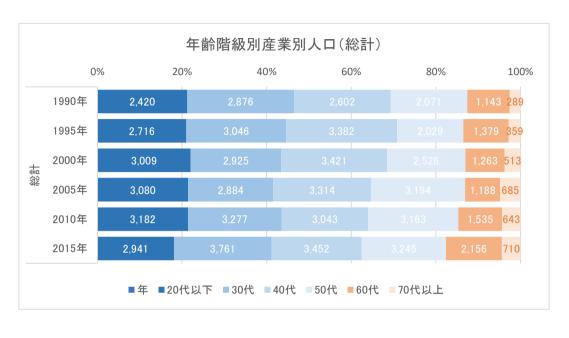
大津町の産業構造

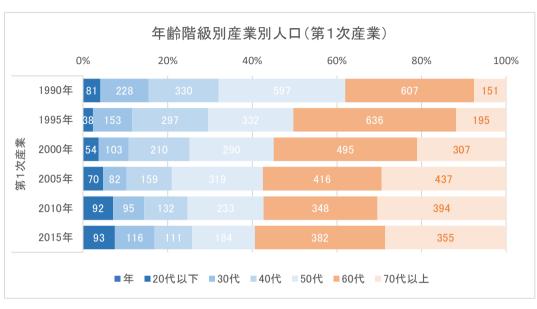


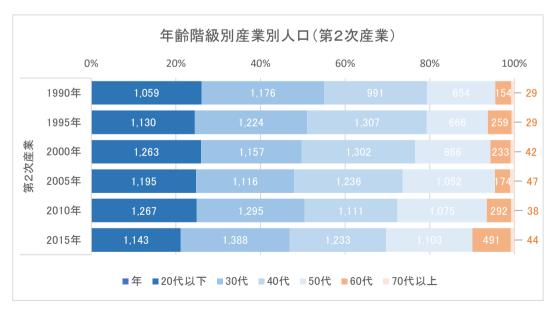
※特化係数:地域の産業分野の特異性を見るための係数 (X産業の特化係数=本町のX産業における就業者比率/全国のX産業の就業者比率)

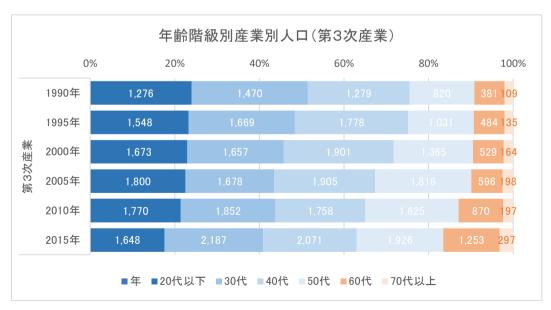


産業別人口の推移

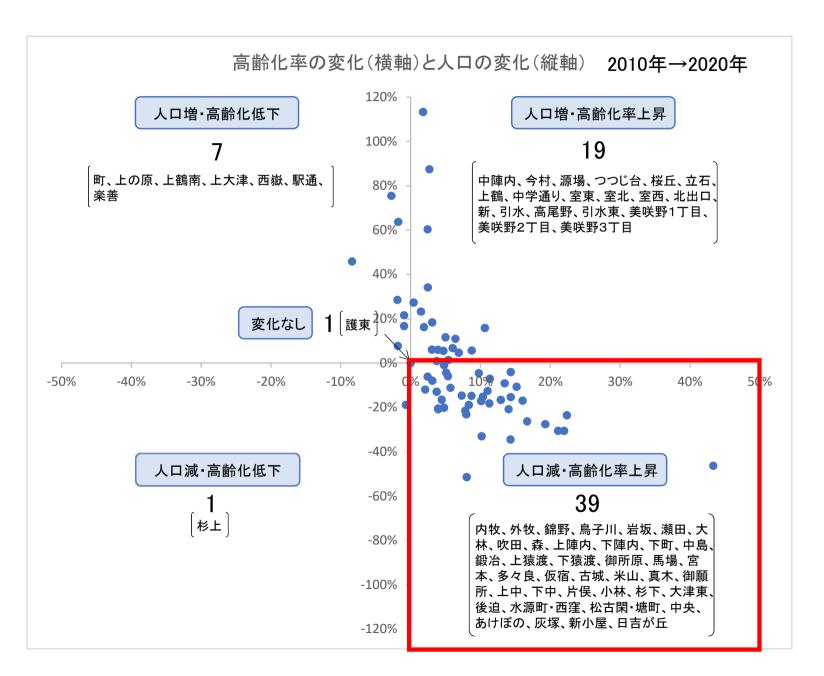




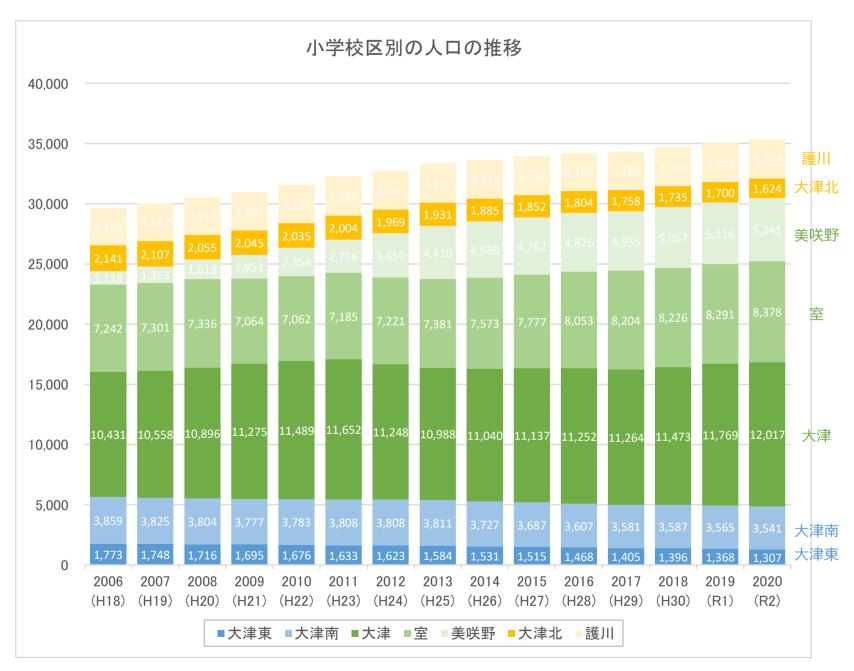




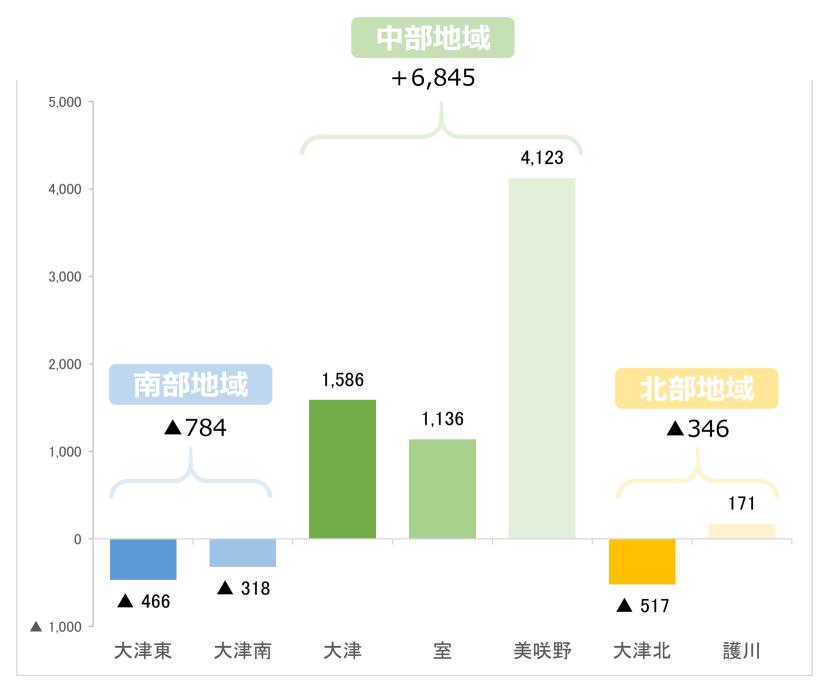
地区別人口の変化(行政区別)



地区別人口の推移(小学校区別)

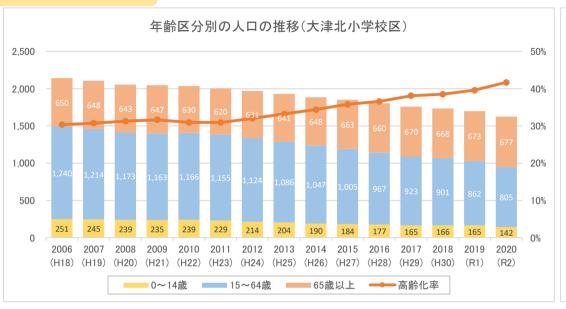


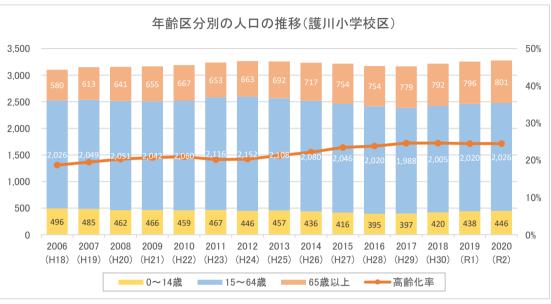
地区別人口の変化(小学校区別:2006→2020)



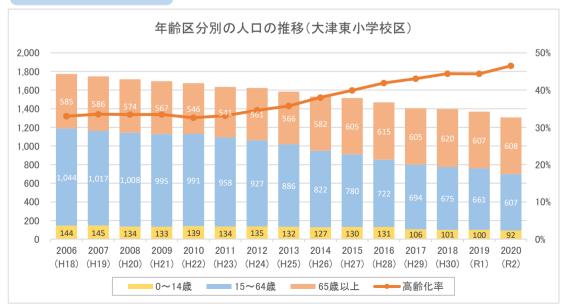
小学校区別人口の推移(北部・南部地域)

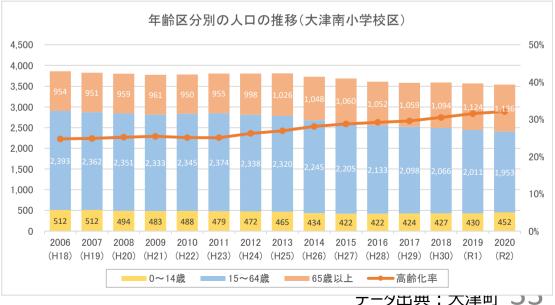
北部地域





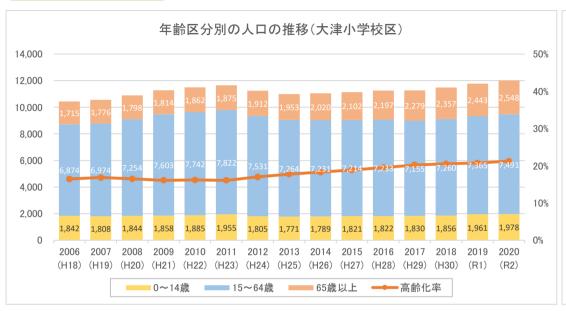
南部地域

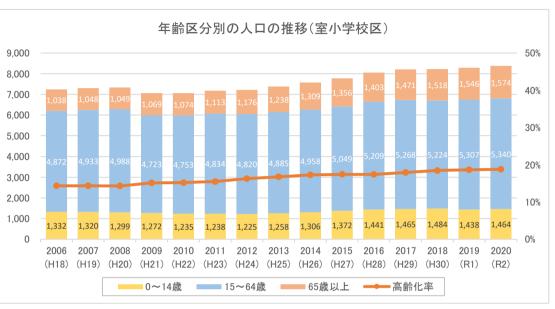


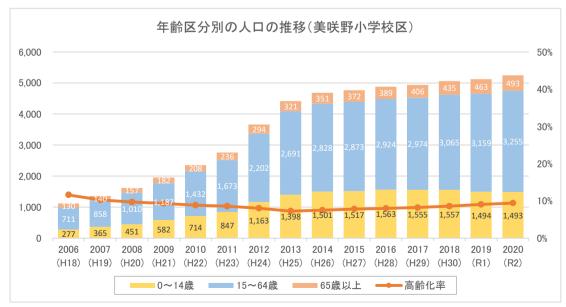


小学校区別人口の推移(中部地域)

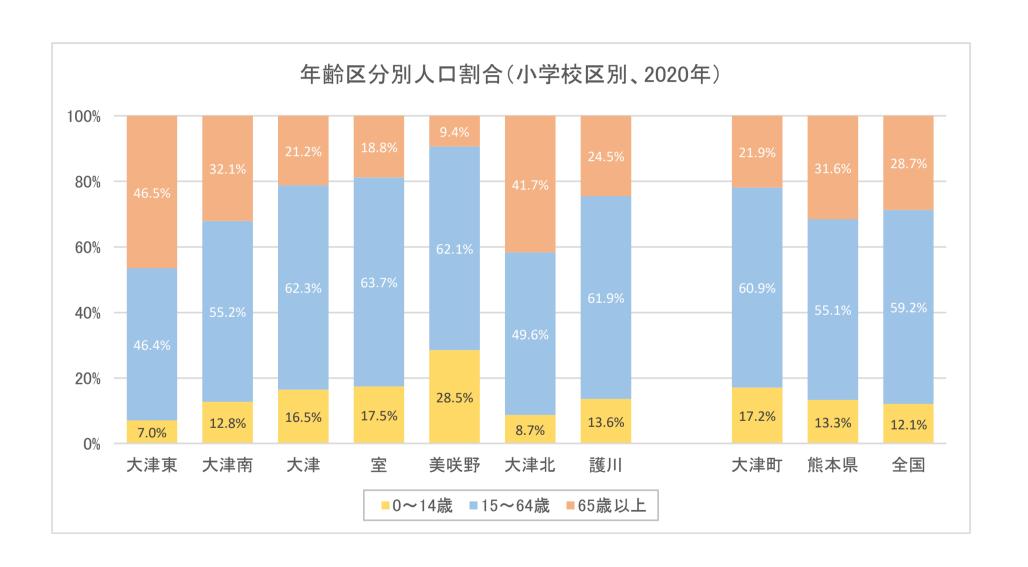
中部地域







小学校区別人口の年齢構成(2020年)



要約 (再掲)

- 町全体としての大津町の人口は、自然増かつ社会増となっています。
- 生産年齢人口割合が高く、高齢化率は国や県の 平均を下回っています。

- ▲近年、出生数が低下傾向にあります。
- ▲ 20歳代の若者が相対的に少なくなっています。
- ▲ 南部・北部には、既に人口減少が進み、高齢化率が非常に高くなっている地域もあります。

将来展望の検討

要約

- ◆ 社人研準拠推計によると、大津町の人口は、今後も増加していくことが見込まれます。
- ▲ 社人研準拠推計で使われている出生率等は、や や強気な想定である可能性があります。
- ▲出生率・移動率が改善しない場合、2040年を ピークに人口減少が始まります。

将来を見据えた地方創生の取組が必要です

出生率・人口移動の想定案

出生率の想定

移動率の想定

将来展望

地方創生の取組により 実現を目指す将来像 2040年までに2.06に上昇 (町民希望出生率)

若年層の社会減が実質ゼロで推移

社人研準拠

社人研が想定する出生 率・移動率による推計 社人研想定による (2.10~2.13で推移)

社人研想定による

以下の年齢層が大幅な社会減で推移 10~14→15~19歳 15~19→20~24歳

参考推計

より慎重な推計

現状を維持

(1.78のまま推移)

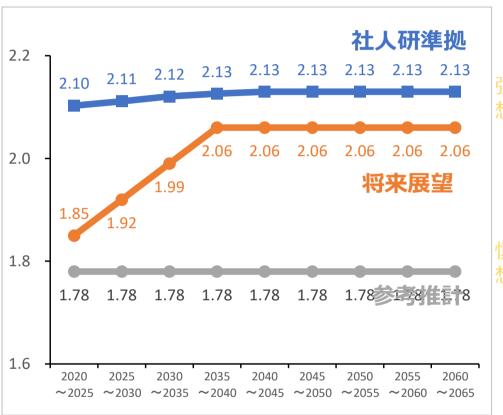
社人研想定による (同上)

希望出生率の算出

	①有配偶者割合	②予定子ども数	③独身者割合	④独身者のうち 結婚希望者割合	⑤独身者の希望 子ども数	⑥離死別再婚効 果係数	希望出生率	
町民希望出生率 (大津町)	45.4%	2.32人	54.6%	85.2%	2.37人	0.955	2.06人	
	(2020年国勢調査· 大津町)	(町民アンケート)	(①より計算)	(町民アンケート)	(町民アンケート)	(社人研・全国)		
国民希望出生率 (全国)	32.0%	2.01人	68.0%	89.3%	2.02人	0.955	1.79人	
	(2015年国勢調査· 全国)	(出生動向基本調 査・全国)	(①より計算)	(出生動向基本調 査・全国)	(出生動向基本調 査・全国)	(社人研•全国)		
県民希望出生率 (熊本県)	34.2%	2.24人	65.8%	89.3%	2.13人	0.955		
	(2015年国勢調査· 熊本県)	(出生動向基本調 査·九州)	(①より計算)	(出生動向基本調 査・全国)	(出生動向基本調 査·九州)	(社人研・全国)	1.93人	
県民理想出生率 (熊本県)	34.2%	2.50人	65.8%	89.3%	2.13人	0.955	2.01人	
	(2015年国勢調査· 熊本県)	(出生動向基本調 査·九州)	(①より計算)	(出生動向基本調 査・全国)	(出生動向基本調 査·九州)	(社人研・全国)		

出生率・人口移動の想定案(補足)

出生率の想定





移動率の想定



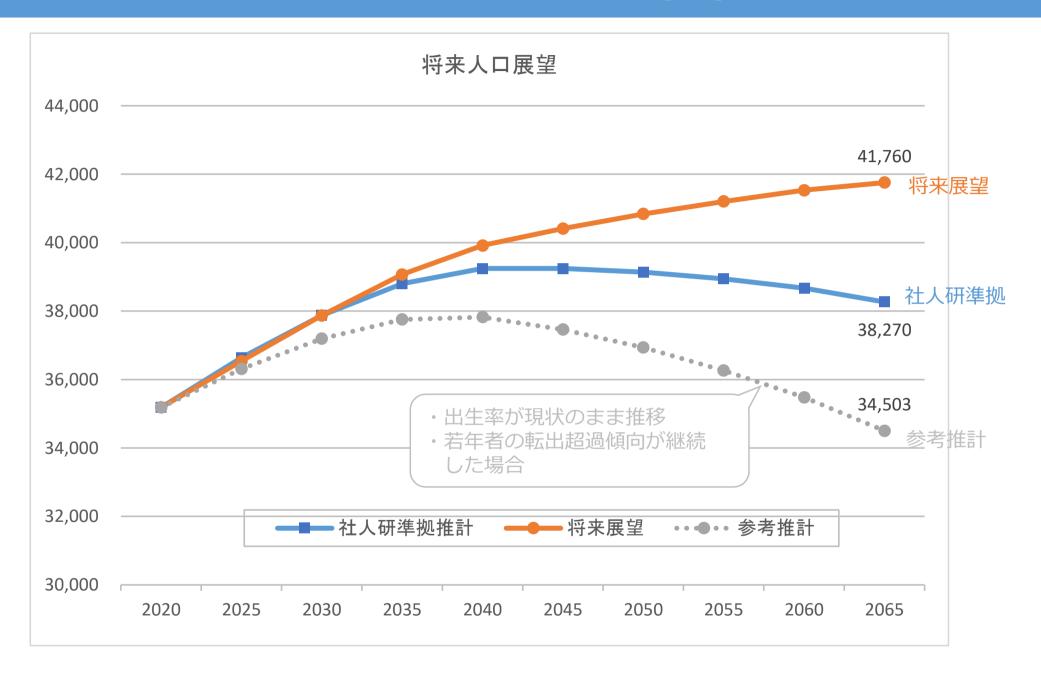
※グラフには15~19歳→20~24歳男性の数値を表示



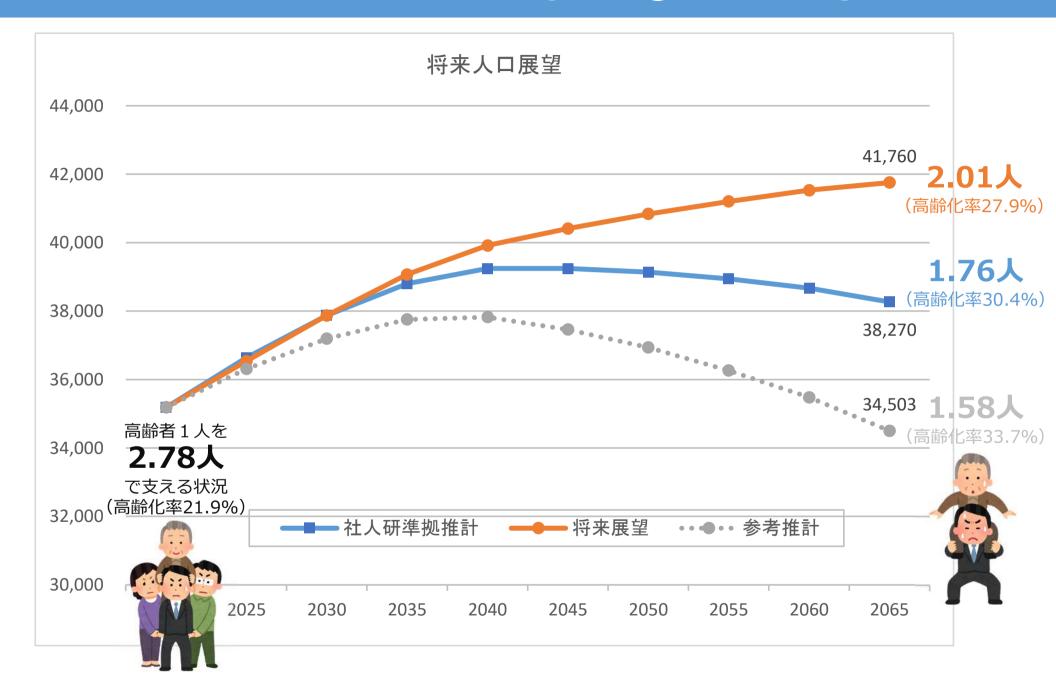
(参考)人口移動の社人研想定

男女計	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
総数	914	724	556	369	112	104	127	139	145
出生→0~4歳									
0~4歳→5~9歳	110	98	82	71	59	58	57	56	56
5~9歳→10~14歳	29	14	7	0	▲ 4				
10~14歳→15~19歳	▲ 69	▲ 93	▲99	▲ 122	▲ 135	▲ 133	▲ 130	▲ 127	▲ 127
15~19歳→20~24歳	▲ 71	▲ 150	▲ 191	▲ 199	▲ 242	▲ 247	▲ 243	▲ 237	▲ 233
20~24歳→25~29歳	245	264	199	162	111	121	123	121	118
25~29歳→30~34歳	257	225	237	168	144	127	139	142	139
30~34歳→35~39歳	71	66	39	37	10	11	9	11	11
35~39歳→40~44歳	42	48	42	27	25	25	26	22	25
40~44歳→45~49歳	28	▲ 9	▲ 7	▲ 6	▲ 13	▲14	▲ 13	▲ 13	▲ 12
45~49歳→50~54歳	32	8	▲ 18	▲ 14	▲ 13	▲ 13	▲ 15	▲ 13	▲ 13
50~54歳→55~59歳	20	28	22	3	3	3	3	3	3
55~59歳→60~64歳	52	56	61	45	32	31	28	26	27
60~64歳→65~69歳	9	12	18	12	4	4	4	4	4
65~69歳→70~74歳	32	23	25	30	27	26	27	27	24
70~74歳→75~79歳	29	18	13	14	18	21	21	22	22
75~79歳→80~84歳	28	56	36	27	31	29	36	36	37
80~84歳→85~89歳	25	22	54	40	28	29	28	34	34
85歳以上→90歳以上	46	39	36	77	27	29	31	31	34

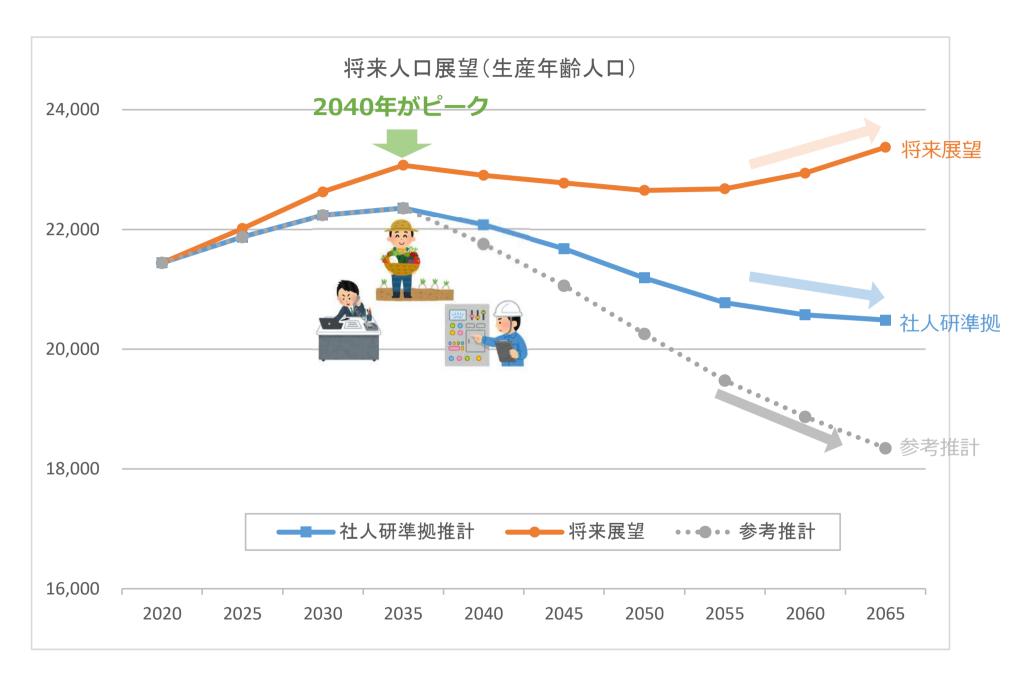
社人研推計と将来展望(案)



社人研推計と将来展望(参考①:高齢化)



社人研推計と将来展望(参考②:生産年齢人口)



将来展望達成のために

将来展望を実現するために、地方創生の取組み を進めていくことが必要です。

結婚・子育ての希望が叶う まちづくり



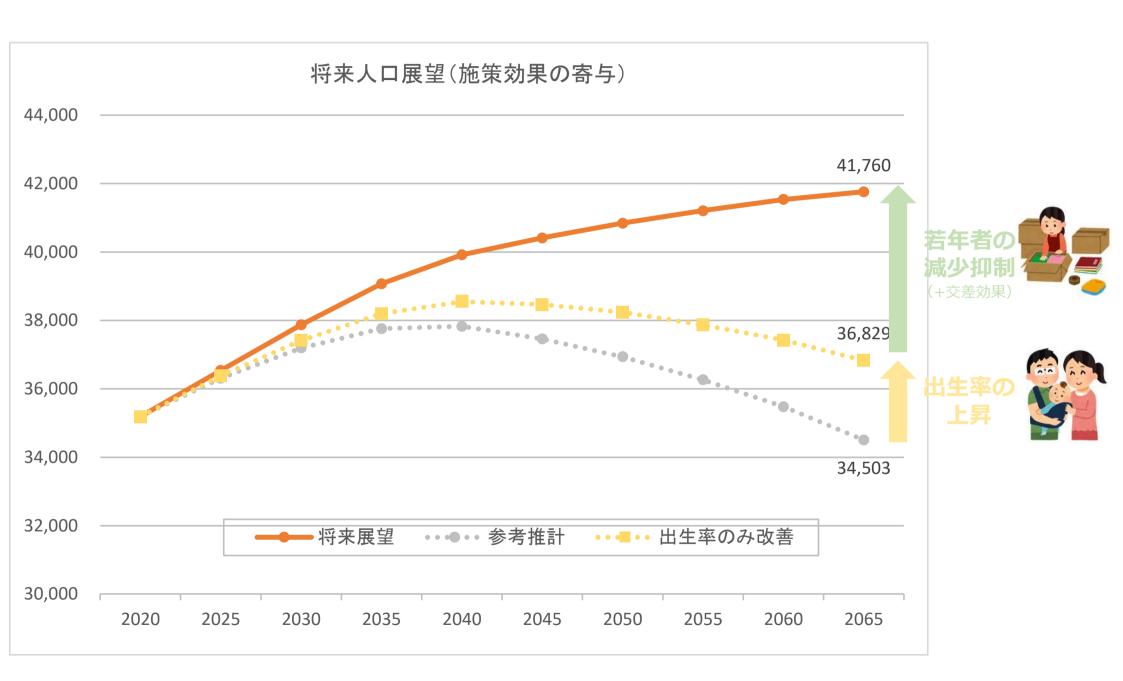
出生率の上昇

くらし・しごとの場として 魅力あるまちづくり

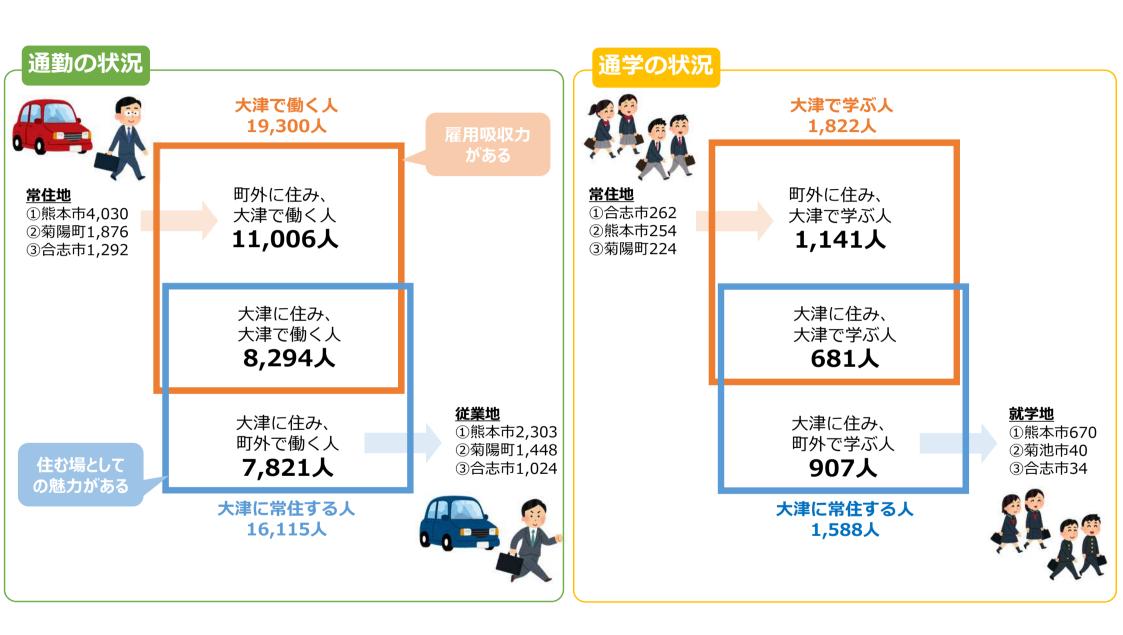


人口の 流入増・流出減

社人研推計と将来展望(参考③:施策効果の寄与)



通勤・通学の状況



要約(再掲)

- ◆ 社人研準拠推計によると、大津町の人口は、今後も増加していくことが見込まれます。
- ▲ 社人研準拠推計で使われている出生率等は、や や強気な想定である可能性があります。
- ▲出生率・移動率が改善しない場合、2040年を ピークに人口減少が始まります。



将来を見据えた地方創生の取組が必要です

今後、町の人口に大きく影響すると考えられる事項

- 世界的半導体企業TSMCの菊陽町進出(2024年生産開始、1,500人の雇用及び関連企業進出の見込み)
- 空港アクセス鉄道の整備(熊本県より再検討表明)
- 阿蘇くまもと空港の新ビル完成(2023年)
- 南阿蘇鉄道のJR肥後大津駅への乗り入れ
- 中九州横断道路の開通

地域ごとの特性と課題

北部

- ・全体として人口減。
- ・一部西側(国道沿い)の地域では人口増となっている。
- ・世帯数が10以下の行政区もあり地域活動の継続が課題。

中部

- ・全体的に人口増。
- ・一部地域では人口減・高齢化率上昇となっている。
- ・人口減地域においていかに人口増を図るかが課題。

南部

- ・全体として人口減。
- ・一部東側の地域では高齢化率が高い。
- ・南部地域の観光資源と連携して、どのような取り組みを進めていくかが課題。

ご清聴 ありがとうございました。

